

10代の少年と社会をつなぐNPO ジュヴェニル

ジュヴェニル通信

「10代の少年と社会をつなぐNPO」 ジュヴェニルが生まれました

ジュヴェニルはこんな想いから生まれました

たとえば、児童自立支援施設入所の時の少年の目つきは仇敵かたきをみるようでけっこう怖い。しばらくするとその目つきもごく普通の少年の穏やかなものにかわっていきま
す。そして、それなりにやれそうになると退園していくのだけど、その後しばらく経
って聞く消息はあまりいい話でないことが多い。

まだ弱冠15, 16歳なのです。普通よりもそれまでややこしい人生を送ってきている子どもたち。本人が直接的に求めるかどうかはわからないけれど、それなりに支えが必要なのではないでしょうか。

社会(大人たち)とうまくつきあえないでいる少年も、社会との関係をなんとかこなせるようになるまでの時間、失敗をしながらもどうかこうにかすごせれば、彼らはきっと自分の力で離陸できるのだと思います。

社会とうまくつきあえないでいるのは、施設にいる少年たちに限ったことではありません。家庭や学校などで精一杯がんばって、背伸びをしつぱって、しんどい思いをしている少年は少なくないでしょう。

ジュヴェニルはこんなことを目指しています。

「10代の少年と社会をつなぐ」と謳うたう私たちは、いつも社会の方が正当であると

か、反社会的あるいは非社会的な少年を「健全育成」するのだという発想には立たないつもりです。

少年と社会の間にできてしまった軋轢あつれきを少年たちの思いに寄り添って、解きほぐしていきたいと考えています。

まず、少年たちの最善の利益を常に考えられる少年のための市民相談員を養成したいと考えています。いまの力量ですぐには難しいのですが、相談員養成研修を開催して十分な人材を養成した後は、電話あるいはインターネットでの相談にのるという形で、少年たちと社会をつなぐきっかけを作りだしていききたいのです。

ふたつめに、少年たちが背伸びをしたりつっぱったりせず、本当の自分の姿をそのままだせるような安心できる居場所を見つけ出したり、あるいは自分のやりたいことを見つけ出すことができるような機会を用意していきたいと考えています。

みつめに、大人たちに少年たちのことをもっと知り、もっと考えようと伝えていくために、話し合いの場、研修の場を提供していきたいと考えています。

ジュヴェニルは当面こんな活動をしていきます。

現在の活動は、2, 3ページに書きましたが、2005年度は、先に書いた「子どもたちのための市民相談員」養成研修にとりかかりたいと考えています。

ジュヴェニルの活動

10代の少年と社会について考える集会

第 1 回テーマ

児童福祉施設におけるボランティアを考える

日時：2004年9月5日(日)
午前10時から午後4時まで
会場：名古屋北生涯学習センター

児童自立支援施設の歴史を学びながら、なぜ児童自立支援施設にボランティアがなじまないのか、話し合いました。

児童自立支援施設の特徴として、一定の規律があり「枠のある生活」する、ということがありますが、ボランティアはこの枠を知らないか理解しないで、崩してしまう波乱要因になりがちで、職員としては安易にボランティアを受け入れがたいということでした。



第 2 回テーマ

児童福祉施設におけるアフターケアを考える

日時：2004年11月13日(土)
午後1時から4時半まで
会場：名古屋北生涯学習センター

情緒障害児短期治療施設ならわ学園で心理職として勤務してきた佐々木栄子さ



んから、施設を退所した児童について、いくつかのケースを取り上げ報告してもらいました。

まだ大人になるまでに間のある退所児童を取り巻く環境が厳しいこと、彼らを物理的にも精神的にも支えるものが非常に乏しいこと、保護者との葛藤もあり居場所や一時的な避難所が必要であることなど、継続的な精神的なつながりをもてる関係が必要であること学ぶ機会になりました。

この日、参加メンバーは初めての方が多く、少しずつ広がっていくのだと感じた次第です。

次回予告

第 3 回テーマ

児童福祉施設における少年の進路について考える

日時：2005年1月15日(土)
午後1時から4時半まで
会場：名古屋北生涯学習センター
(名城線黒川駅下車すぐ)

高校進学か中卒で就職か、児童福祉施設の子どもたちはどのような選択をしているのか。どのようなサポートが必要なのか話し合います。

当日参加可ですが、資料等の準備の都合上事前にご連絡頂ければ幸いです。

ジュヴェニルの活動

学習支援など

昨年末から、ある養護施設の中学3年生を対象に、学習支援の活動を始めました。

毎週1回施設を訪問して、英語と数学と国語の学習支援をしていきます。高校入試が当面の目標ですが、高校に入ってから勉強がイヤにならない程度の基礎学力を身につけてもらいたい、あるいは勉強のできる子には、もっと学ぶことの楽しみを知って欲しいと思って関わっています。

また、少年に声をかけ、他のNPOが実施しているボランティア活動(ハイキング)の場に参加してもらったり、アルバイトの経験をさせてもらったり、社会とつながっていくトライアルの機会を提案しています。

そのほか、信頼関係を前提とするために、いまはこれまでに関わりのあった少年に限られています。電話での話し相手をしたり、保護者の相談に乗ったりしています。

スタッフによるリレー随想(1)

T子さんの初バイト

9月のある日、午前中は法務局でジュヴェニルの設立登記相談、午後は、別のNPOの会報発送作業の予定だった。ぼくは、知的障害のある人を支援するNPO法人で・ら・しえんでも活動しているのだが、この日までに会報約500通を発送しなければならなかった。会報の発送作業を経験した人ならわかるけれど、この作業は、ほとんど作業する人の数に比例して進捗する。人手が欲しかった。

昼食をとるために寄ったうなぎ屋さんで鰻丼をたべながら、あまり期待できないが、この春卒業したT子さんに電話をして呼び出すことにした。近くにいればいいのだが・・・と思っていたら、どうしてだか、岐阜県にいたりとか。岐阜でも恵那とか中津川といっている。そう遠くもないので、発送作業のバイトにこないかと誘ったら、意外にも来るといった。

作業は、伏見のNPO・ボランティアセンターで行うことにしていたので、とにかく名古屋まででてくるように伝えて、われわれも名古屋に移動した。途中で携帯電話でのやりとりが数回あって、彼女は4時前にようやくやってきた。

会報を丁合する仕事、3つに折る仕事、

封筒に入れる仕事、封筒にのりをつけて封をする仕事・・・とけっこういろいろ作業メニューはある。彼女は、自分が得意な作業を選んでやりはじめた。

夜7時。3時間かかってようやく発送作業は完了。この3時間、おしゃべりしながらだけれど、手先はほとんど休めずにしっかり仕事をしてくれた。たぶん学園にいたときは、こんなに連続して根をつめた作業をしたことはなかったと思う。ほんとにまじめにやってくれた。

700円×3時間+地下鉄代200円=2300円を報酬としてあげると、とても喜んだ。彼女にとって初バイトだったのだ。いきなり世間様のバイトにはつけないのなら、こうやって仲間内の仕事をさせてあげて練習してもらうのもいいなと思った。

T子さんは、車の中で母親に携帯電話で初バイトを報告していたようだが、母親にも褒められて、とてもよろこんでいた。「次、いつ仕事ある?」と聞いてきたが、ジュヴェニルが数百通の会報を発行できるのはいつのことやら・・・。それまでは、知り合いのNPOのみなさんをお願いして、こうした少年たちのアルバイトの予行演習を手伝ってもらうことにしよう。(み)

ジュヴェニル Q & A

Q1 ジュヴェニルってどういう意味ですか。

A1 ジュヴェニルは、「若々しい」「生き生きとした」という意味のフランス語です。

競馬でジュベナイルフィリーズという2歳牝馬の若駒によるレースがありますがそのジュベナイルと同じ語源です。(ちなみにフィリーズのほうは「おてんばむすめ」という意味です。)

Q2 どんな人たちが中心で活動しているのですか？

A2 県立児童福祉施設の職員の仲間内から取り急ぎスタートしましたので、理事は愛知県職員ばかりになってしまいました。(^ _ ^)(^ _ ^) ;

理事は、秋吉修一(中央児相)、加藤真美(愛知学園)、小山恵子(一時保護所)、玉井真司(愛知公園協会)、山中和彦(障害福祉課)の5人です。

また、スタッフとして、佐々木栄子(愛知県厚生事業団)、白鳥真紀子(愛知学園)、可児由香(で・ら・しえん)、下山幸子(農林総務課)が、事業の企画と運営に参加しています。

できるだけいろんな立場の人と一緒に活動を広げていきたいと考えています。ぜひ、あなたも、集会への参加からはじめて、気に入ればスタッフとして関わってください。

Q3 もう少しジュヴェニルのことを知りたいのですが。

A3 ホームページがありますので、見てください。Yahoo!などで「ジュヴェニル」といれてもヒットします。

<http://juvenile.sunnyday.jp>

「活動日誌」と「掲示板」のコーナーは、携帯電話からアクセス可能です。

活動日誌(読みのみ)

<http://juvenile.jugem.jp>

掲示板(読み書きOK)

<http://juvenile.sunnyday.jp/epad/epad.cgi>

Q4 活動に参加するにはどうしたらいいですか。

まずメールをくださるか、ホームページに掲載する集会や学習ボランティアなどの活動に参加してみてください。

また、月1回程度メールマガジンを発行していますので

「メルマガ希望」と書いてメールをいただければ送信します。

なお、事務所は、事務連絡用に借りているだけで、私たちが常駐しているわけではありません。



特定非営利活動法人ジュヴェニル

E-mail juvenile@dw.sunnyday.jp URL <http://juvenile.sunnyday.jp>

〒487-0024 愛知県春日井市大留町5-29-16 市民オフィスウェルカム横丁
